

平成 25 年度教員採用選考（案）について

義務教育課
高校教育課
特別支援教育課

1 選考の日程及び会場

5月7日（月）	募集要項配布開始
5月8日（火）	志願受付開始
5月23日（水）	志願受付締切り
7月7日（土）・8日（日）	一次選考（小学校、中学校、特別支援学校） ・会場…長野市立柳町中学校、東部中学校、 櫻ヶ岡中学校 一次選考（高等学校） ・会場…長野商業高等学校
8月上旬	一次選考結果発表
8月21日（火）・22日（水）・23日（木）・24日（金）・27日（月）・28日（火）	二次選考（小学校、中学校、特別支援学校） ・会場…長野県短期大学、長野市立三輪小学校
8月29日（水）・30日（木）・31日（金）・9月3日（月）・4日（火）	二次選考（高等学校） ・会場…長野県短期大学
10月上旬	採用予定者発表

2 採用予定の教員の種別、教科及び人員

(1) 小学校・中学校・特別支援学校・高等学校教諭を対象とした選考

学 校 種	教 員 の 種 別	教 科	採用見込数
小学校 中学校 特別支援学校	小学校教諭		約 110名
	中学校教諭	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語	約 140名
	特別支援学校教諭		約 30名
	養護教諭		5名程度
高等学校	高等学校教諭	国語 地理歴史 公民 数学 理科 保健体育 芸術（音楽・美術） 外国語（英語） 農業 工業 商業 福祉	約 120名
	養護教諭		若干名

(2) 身体に障害のある人を対象とした特別選考

全志願区分において、上記とは別に実施

採用予定人員： 小学校、中学校、特別支援学校の教諭・養護教諭 … 5名 高等学校の教諭・養護教諭 … 5名
※受験にあたっては、障害の種類や程度に応じて、文字・用紙の拡大、手話通訳によるコミュニケーション、試験時間の延長、試験会場・座席の配慮、実技試験の一部免除等、支障なく受験できるように努める。

(3) 特別支援学校理療科を対象とした選考

詳細は別途定める「特別支援学校理療科選考実施要項」による。

期日・会場等具体的なことは特別支援教育課にお問い合わせください。

(注)

- ① 小学校、中学校及び特別支援学校で受験する者は、異校種経験を原則にする立場から、希望と異なる学校種へ配置することがあります。また、小・中・特別支援学校間の人事異動についてもこれまでどおり行います。
- ② 「小学校、中学校及び特別支援学校教諭の選考」と「高等学校教諭の選考」の双方を志願することはできません。
- ③ 高等学校教諭の「教科」項目中の（ ）内は、主たる専攻区分を示しています。
- ④ 小学校、中学校及び特別支援学校で受験する者は、複数校種（小・中・特別支援学校）・複数教科等の免許状を有することが望ましいです。
- ⑤ 特別支援学校は、小学校又は中学校免許状を有し、且つ特別支援学校教諭免許を有する者とします。
- ⑥ 採用見込数は、現時点の目安であり、変更することがあります。
- ⑦ 高等学校の「地理歴史」は公民の免許状を、「公民」は地理歴史の免許状をそれぞれ有することが望ましいです。「福祉」は、他教科の免許状を有することが望ましいです。

3 選考区分 ※「一般選考」と「社会人を対象とした選考」の双方を志願することはできません。

(1) 一般選考

受験者の条件	なし
選考方法	筆記試験（教養・専門）、小論文、面接（集団・個人、高等学校は複数回実施）。教科により実技検査あり。
採用の割合	採用予定者の4割～7割程度

(2) 社会人を対象とした選考

① 民間企業等経験者を対象とした選考

受験者の条件	民間企業、教職以外の公務員、NPO等の経験が平成25年3月31日までで3年以上ある者及び青年海外協力隊などの国際貢献活動を平成25年3月31日までで2年以上経験している者
選考方法	筆記試験（専門）、小論文、面接（集団・個人、複数回実施）。教科により実技あり。
採用の割合	採用予定者の1割程度

② 教職（常勤・非常勤講師を含む。）経験者を対象とした選考

受験者の条件	学校、幼稚園で教諭、講師の経験が平成25年3月31日現在で3年以上ある者（講師は、常勤・非常勤を問わない。）
選考方法	筆記試験（専門）、小論文、面接（集団・個人、複数回実施）、教科により実技あり。
採用の割合	採用予定者の3割～5割程度

(3) 特別選考（いずれも上記（1）又は（2）の選考区分で受験、採用も内数）

① 発達障害児童生徒特別支援のための選考

受験者の条件	LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥多動性障害）・高機能自閉症等発達障害に関する専門の知識を有し、NPOや学校などで当該児童生徒に関わった経験が平成25年3月31日現在で3年以上ある者（所属長の推薦書を添付すること。）
選考方法	上記「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択
採用見込数	小中学校若干名

② 博士号取得者を対象とした選考

受験者の条件	中学校にあっては、理学、工学における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識を持ち、理数好きの生徒を育てる意欲のある者。（所属長等の推薦書添付）。教員免許状を有する者。 高等学校にあっては、化学分野、生物分野又は、数学分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識を持ち、理数好きの生徒を育てる意欲のある者（所属長等の推薦書添付）。教員免許資格の有無は問わない。
選考方法	上記「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。一次選考は免除する。
採用見込数	中学校（数学、理科）若干名、高等学校（数学、理科）若干名

③ 小学校・中学校大学推薦選考

受験者の条件	小学校普通免許状と中学校普通免許状の両方を保有し、さらに中学校普通免許状は技能教科（音楽・美術・保体・技術・家庭）を含む複数免許状を保有している者 長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、平成25年3月に卒業見込又は大学院修了見込の者 詳細は別途定める「大学推薦特別選考実施要項」による。長野県教育委員会のホームページに掲載する。
選考方法	一次選考は書類審査（大学長推薦書、成績証明書）、筆記試験（専門）。二次選考は、面接（個人面接、複数回実施）、適性検査。教科により実技あり。詳細は別途定める「大学推薦特別選考実施要項」による。
採用見込数	小中学校合計10名

(4) 身体に障害のある人を対象とした特別選考（上記とは別枠で採用）

採用見込 ①②合計	小学校、中学校、特別支援学校の教諭・養護教諭 … 5名 高等学校の教諭・養護教諭 … 5名		
① 身体に障害のある人を対象とした特別選考1 全志願区分対象	小、中、支援 特別学校、教諭・養護教諭	受験者の条件	身体障害者手帳（1級から6級）の交付を受けている者で、自力通勤及び介助なしで職務の遂行が可能な者
		選考方法	上記「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択
② 身体に障害のある人を対象とした特別選考2 大学推薦枠	小、中、支援 特別学校教諭・養護教諭	受験者の条件	身体障害者手帳（1級から6級）の交付を受けている者で、自力通勤及び介助なしで職務の遂行が可能な者。長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、平成25年3月に卒業見込み又は大学院修了見込みの者 詳細は、別途定める「大学推薦特別選考実施要項」による。長野県教育委員会のホームページに掲載する。
		選考方法	一次選考は書類審査（大学長推薦書、成績証明書） 二次選考は面接（個人面接、複数回実施）。教科により実技あり。

4 申込資格

(1) 昭和28年4月2日以降に生まれた者

(2) 希望する教科若しくは職の普通免許状を有する者又は平成25年3月31日までに取得見込みの者。

なお、養護教諭については平成25年の春までに行われる国家試験により、保健師免許状を取得する見込みの者で、平成25年3月31日までに養護助教諭免許状（臨時免許状）取得の要件を満たす者を含みます。

また、3(3)② 博士号取得者を対象とした選考を志願する者で、高等学校の普通免許状を

所有していない者は、選考後に特別免許状の申請をし、取得する必要があります。

- (3) 特別支援学校教諭については、小学校又は中学校教諭免許状を有し、且つ特別支援学校教諭免許状を有する者（平成 19 年 3 月 31 日以前に盲学校教諭免許状、聾学校教諭免許状、養護学校教諭免許状を有した者を含む。）又は平成 25 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (4) 地方公務員法第 16 条及び学校教育法第 9 条の欠格条項に該当しないこと。

5 求める教師像 ～人物重視の選考～

- (1) 子どもが好きで、教育への情熱と心身のたくましさを持っている人
- (2) 豊かな人間性と広い視野を持ち、子どもの前で正直になれる人
- (3) 幅広い教養と教科の専門的な知識・技術を持ち、常に向上しようとする人
- (4) 創造性、積極性及び行動力を持っている人
- (5) 同僚や保護者などと協力し、共に汗を流す意欲のある人

6 選考基準（別紙 1、2）

7 その他

(1) 結果の通知

ア 一次選考結果

- (ア) 合否並びに不合格者に係わる総合評価、集団面接及び小論文の段階別評価並びに一般教養、専門教科及び実技検査の得点及び平均点を郵送にて通知します。
- (イ) 合格者の受験番号を本県教育委員会ホームページに掲載します。
- (ウ) 一次選考合格者の結果については、二次選考結果の通知にあわせて通知します。

イ 二次選考結果

- (ア) 小学校、中学校及び特別支援学校で受験した者へは、合否並びに総合評価、個人面接及び実技検査の段階別評価を郵送にて通知します。
- (イ) 高等学校で受験した者へは、合否及び総合評価の段階別評価を郵送にて通知します。
- (ウ) 合格者の受験番号を長野県教育委員会ホームページに掲載します。

※上記の一次選考結果及び二次選考結果については、長野県個人情報保護条例第 11 条第 1 項ただし書の規定により、口頭で開示を請求することができます。ただし、一次選考合格者は、二次選考結果通知後に開示請求ができるものとします。

<開示する期間> 選考結果の通知日から 1 年間

<開示を行う場所> 長野県教育委員会事務局義務教育課または高校教育課（長野県庁 8 階）

<必要書類> 運転免許証、学生証等本人であることを証明できるもの

- (2) 採用選考の実施に際して収集する個人情報は、この採用選考及び臨時的任用のために必要な範囲のみ利用します。
- (3) 提出された書類等は、一切返却しません。
- (4) 一次選考の一般教養、専門教科の問題用紙は持ち帰りができます。
- (5) 電子申請による採用選考申込も受け付けます。ただし、電子申請による申込の場合も郵送又は持参で提出しなければならない書類があります。その受付期間は郵送又は持参による申込と同じです。期限までに提出して受付が完了します。（詳細は、要項、ホームページで案内します。）
- (6) 大学推薦選考（小学校・中学校大学推薦、身体障害者特別選考 2）への出願は、大学が作成する書類と共に被推薦者が準備する書類をとりまとめて、大学が一括して長野県教育委員会に提出してください。

(別紙1) 平成25年度長野県小学校・中学校・特別支援学校教員採用候補者の選考基準について

1 一次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定	
筆記試験	一般教養 (一般教養、教育法規、教育課程等。)	—	60点	筆記試験の結果を基に、小論文、集団面接及び書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。 5段階 (A, B1, B2, B3, C) A : 合格 B, C : 不合格	
	専門教科 (教科等の指導に関する内容を含む。)	—	100点		
	実技	中学校美術 (鉛筆によるデッサン)	発想・構想力、技能等 (25点。100点を含む。)		(25点)
		中学校技術 (製図)	工夫し創造する力、技能等 (15点。100点を含む。)		(15点)
中学校家庭 (布を用いた製作)		構成力、技能等 (20点。100点を含む。)	(20点)		
小論文 (与えられた課題について、800字以内で論述)		題意把握の的確さ、文章構成の工夫、論理的思考力、表記 (誤字・脱字等)	5段階		
集団面接 (与えられた課題について、意見や感想の発表、討論)		意欲、判断力、人間的魅力	5段階		
書類審査 (履修内容及び成績、免許、特技等)		選考の参考にする。	—		

2 二次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定
個人面接	(申込書に記入した資格や諸活動等に関する内容を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> 意欲 (熱意、積極性、向上心) 判断力 (論理的思考、冷静さ) 創造性 (問題分析、創意工夫、柔軟な思考) 人間的魅力 (明朗さ、受容力、協調性、耐性) 専門性 (児童生徒理解、教養、教科等) (70点。〈模擬授業を含む。〉)	5段階	個人面接及び実技の結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。 5段階 (A, B, C1, C2, C3) A : 合格 B : 補欠 C : 不合格
	模擬授業 (与えられた課題について、児童・生徒への模擬指導。)			
実技	体育 ・小学校・特別支援学校 体づくり運動、器械運動、陸上競技、水泳、球技、ダンス ・中学校保健体育は、上記の種目に武道を加える。	運動種目の理解、技能、指導力 (小学校・特別支援学校15点。) (中学校保健体育30点。)	5段階	
	音楽 ・小学校・特別支援学校 歌唱、ピアノ伴奏、ソプラノリコーダー演奏 ・中学校音楽 指揮、ピアノ弾き歌い、器楽 (任意の楽器)	技能、表現力 (小学校・特別支援学校15点) (中学校音楽30点)		
適性検査		選考の参考にする。	—	

(別紙2) 平成25年度長野県立高等学校教員採用候補者の選考基準について

1 一次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定	
筆記試験	一般教養(国・社・数・理・英の基礎的知識、教職及び時事教養)	—	60点	筆記試験及び実技試験の結果を基に、小論文、集団面接及び書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。 5段階 (A・B・C・D・E) A : 合格 B～E : 不合格	
	専門教科(大学卒業程度の各教科における専門的知識・知能)	—	120点		
	実技	保健体育(陸上競技・水泳・球技・器械運動)	実技指導に必要十分な技能の理解・修得状況		(60点)
		音楽(弾き歌い・即興伴奏・新曲視唱)	音楽性、構成力、表現力		(60点)
		美術(鉛筆によるデッサン)	構図、正確な描写、鉛筆の特性を生かした描写		(60点)
福祉(介護・介助)		介護・介助の基本動作、適切な声かけや接し方	(40点)		
小論文(与えられた課題について、800字以内で論述)		題意把握の的確さ、文章構成の工夫、論理的思考力、表記(誤字・脱字等)	5段階		
集団面接(与えられた課題に対する意見・感想の発表や討論)		意欲・態度・人間性・柔軟性	5段階		
書類審査	(履修内容及び成績、免許、特技等)	選考の参考にする。	—		

2 二次選考

選考内容		評価の観点、段階等		総合判定
個人面接 ○高校生活の印象・大学卒業論文の概要など、事前に提出する「個人面接カード」の内容に関する質問	模擬授業 ○与えられた課題について、生徒を目の前に想定した模擬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲(教育への情熱・使命感・目的意識) ・人間性(広い視野、人間的魅力) ・専門性(広い教養、教科の専門的知識・技術) ・柔軟性(柔軟な思考力・発想、向上心、行動力) ・態度(真摯な対応、周囲に与える印象) 	5段階	個人面接の結果及び適性検査の判定結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら、総合的に判定する。 5段階 (A・B・C・D・E) A : 合格 B : 補欠 C～E : 不合格
		・わかりやすさ、的確さ、教師としての姿勢		
適性検査		選考の参考にする。		